

実施クラス	実施日	実施保育者名
4・5 歳児 うみ・だいち 組	10 月 16 日 (木)	西村 美麗

● 実施計画

活動テーマ	
好きな食べ物って何？ 食べ物にはどんな種類がある？	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
<p>・給食中、「これって英語でなんて言うの？」と質問する子どもの姿が見られていた。</p> <p>・以前行っていた英語あそびの時間に様々な果物や野菜の言い方を練習すると、積極的に覚えようとする児や沢山言えるようになった児がいた。</p>	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
15:30	<p>【探究活動①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果物カードを見てそれぞれの果物の名前を英語で言ってみる。 ・パペットを用いたお手本を見た後に好きな食べ物ランキングを考えてみる。 ・言いたい児から1人ずつ「what's your favorite fruit?」という質問に対して、英語で好きな果物を3つ答えていく。 ・友だちの好きな果物を聞いたり自分と比べてたりして楽しむ。
15:45	<p>【探究活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でお店屋さんごっこ ・店員役とお客さん役に分かれて、果物カードや野菜カード、おままごと玩具を使ったやり取りをして遊ぶ。 ・お客さん役の子どもは「OO please」と欲しいものを伝える。 ・店員役の子どもは聞いたものを探して渡す。 ・「thank you」「you're welcome」や「ok.」などの挨拶を取り入れる。
16:05	今日学んだ言葉や楽しかったことを話す時間。
16:10	終了
	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おままごとやカードを使って視覚的に食べ物の種類が分かりやすいようにする。 ・パペットを通して質問することで緊張感なく話せるようにする。 ・お店屋さんごっこをする際には机を使って店員側と客側が分かりやすいようにし、またレジに見立てることでやり取りをより楽しめるようにする。 <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果物カード ・野菜カード ・おままごとの食べ物玩具 ・人数分の椅子 ・机

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・はじめにパペットを用いて質問と答えのやり取りのお手本をして見せたことで、どのように答えたら良いのか理解しやすいようにした。</p> <p>・言いたい児から挙手してもらい聞きに行くことで、主体的に発する姿を大切にしたい。</p> <p>・文章で答えるのが難しい児や単語が出てこない児もいたが、正しく言えることよりもやり取りを楽しむことを意識して関わることで、最後まで全員が参加して楽しむことができた。</p> <p>・普段から「thank you」「you're welcome」というやり取りを多く行っていたことで、子どもから自然に言葉が出てくるがあった。</p>	<p>・「あ、ライオンくんだ」「ライオンくんは何が好きなんだろう？」とパペットの好きな果物の答えに興味を示していた。お手本を見てから答えることで自分の好きな果物について意欲的に話す姿が見られた。</p> <p>・「watermelon」と「melon」が似ていることに気が付いた児がいた。</p> <p>・言いたい単語が出てこなかった際、分かるものだけ言うのではなく保育者に聞いて英語で言えるようにしている児が多く見られた。</p> <p>・ごっこ遊びの中で【アメリカのスーパー】という設定にしたことで最後までやり取りを英語で続けようとする様子があった。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・口頭で例を出すよりも、パペットを用いて質問と答えのやり取りのお手本を示すほうが興味を持ちやすく、また質問した後にすんなりと答えやすいと分かった。</p> <p>・探究活動を行った次の週の英語活動では、その前に行った時よりも子どもたちの中に単語が身に付いていた。</p> <p>・お店屋さんごっこはおままごと玩具よりもカードが人気だったが、2種類用意したことで同じものが欲しい児がいた時に対応することができ、楽しむことが出来たので良かった。</p> <p>・今後は探究テーマからどのように英語と結び付けていくか、子どもたちと一緒に掘り下げていけるようにしたい。</p>	<p>・コミュニケーションを気楽にとれる力を、日本語はもちろん、英語でも育んでいける環境は素敵ですね。</p> <p>・気心の知れた仲間や先生の中で、臆すことなく「英語でなんて言うの？」と聴ける事、すぐに吸収できること、やり取りを楽しむこと等、幼い時期だからこそ色々な姿を見ることが出来ました。</p> <p>・パペットを使い、やり取りの楽しさを伝えられたことも大きかったですね。おままごと玩具やカードのように準備が生きる事を学び、保育にも生かして、相乗効果を期待します。</p>